

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	福祉	科目	生活支援技術	単位数	4	学年・学科	2学年・D科(選択)
教科書	実教出版「生活支援技術」		副教材				

学習目標	福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な資質・能力を育成することを目指します。
学習方法	必要な支援の方法について講義をした上で実践的・体験的な学習をします。支援方法(介護者役)の体験、支援される(利用者役)体験の両方をしながら、利用者主体の生活ができるよう、安全・安楽な介護実践を行うための知識・技術を習得します。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け				
			100%	45%	55%		
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	介護を必要とする人への自立生活の支援について理解しているとともに、関連する技術を身につけている。	前期	知識・技能(技術)	40%	20%	20%
			中間	思考・判断・表現	30%	15%	15%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	10%	20%
			前期	知識・技能(技術)	40%	20%	20%
			後期	思考・判断・表現	30%	15%	15%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	10%	20%
	b 思考・判断・表現	介護を必要とする人への自立生活の支援をするに当たって、課題を発見し、介護従事者として求められる「人間として守るべきこと」を踏まえ、科学的な根拠に基づいて考えをまとめて判断、表現ができる。	前期	知識・技能(技術)	40%	20%	20%
			中間	思考・判断・表現	30%	15%	15%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	10%	20%
			前期	知識・技能(技術)	40%	20%	20%
			後期	思考・判断・表現	30%	15%	15%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	10%	20%
c 主体的に学習に取り組む態度	尊厳の保持や自立支援などについて自ら学び、協力して学び合い計画する意欲があり、実践的に取り組もうとしている。	前期	知識・技能(技術)	40%	20%	20%	
		中間	思考・判断・表現	30%	15%	15%	
			主体的に学習に取り組む態度	30%	10%	20%	
		前期	知識・技能(技術)	40%	20%	20%	
		後期	思考・判断・表現	30%	15%	15%	
			主体的に学習に取り組む態度	30%	10%	20%	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	生活支援の考え方	感染予防対策や介護従事者の健康管理について学びます。	○			感染症の基礎知識を理解し、感染予防対策について身につけている。	実技 ワークシート 行動観察 調査
	自立に向けた生活支援	からだのつくり、しくみについて理解し、睡眠・休養の意義と目的、技法について学びます。	○	○	○	健康状態の把握について理解し、支援方法の技術を身につけている。	
	移動の支援の技法	移動の意義と目的、技法について学びます。	○	○	○	移動の支援の技法について理解し、対象者に合わせた支援方法を考えることができる。	
前期末	尊厳の保持	尊厳を保持することの重要性を理解し、利用者の自立に向けた支援について学びます。	○	○	○	尊厳の保持や自立支援の考え方について理解している。	実技 ワークシート グループワーク 行動観察 調査
	自立に向けた生活支援	身じたく、入浴・清潔保持、排泄の意義と目的、技法について学びます。	○	○	○	入浴・清潔保持にかかわる基本的知識について理解し、支援方法の技術を身につけている。	
	認知症の理解	認知症の「人」を中心に支援する考え方を学びます。	○	○	○	対象者だけでなく、その人を取り巻く家族や環境にも視点を置き、総合的に考えることができる。	
後期中間	自立に向けた生活支援	食事の意義と目的、技法について学びます。	○	○	○	食事にかかわる基本的知識について理解し、支援方法の技術を身につけている。	実技 ワークシート グループワーク 行動観察 調査
	生活の理解	利用者のQOLの維持・向上をめざした生活支援のあり方を学びます。	○	○	○	生活の個性や多様性について学び、支援のあり方について理解しようとしている。	
	緊急時の支援	緊急時における応急手当の方法を理解し、緊急時に的確に対応し、行動できる技術を学びます。	○	○	○	緊急時に的確に対応し、行動できるための具体的な支援方法について理解しようとしている。	
後期末	自立に向けた生活支援	移動の支援の技法を理解し、利用者の心身の状況に応じた安全で安楽な介護技術を学びます。	○	○	○	基本動作である移動について日常生活において不可欠なものであることを理解し、個に応じた支援方法を考えることができる。	実技 ワークシート グループワーク 行動観察 調査
	終末期の支援	終末期ケアにおけるアセスメントの視点や症状に対する具体的な支援と留意点を学びます。	○	○	○	死を迎える人に必要とされる支援方法について考え、介護従事者の役割について理解している。	
	生活支援と介護過程	ICFとは何かを理解し、ICFの活用について学びます。利用者の自分らしい生活の実現のための支援について学びます。	○	○	○	介護過程の展開の意味と、必要性について考えることができる。	